

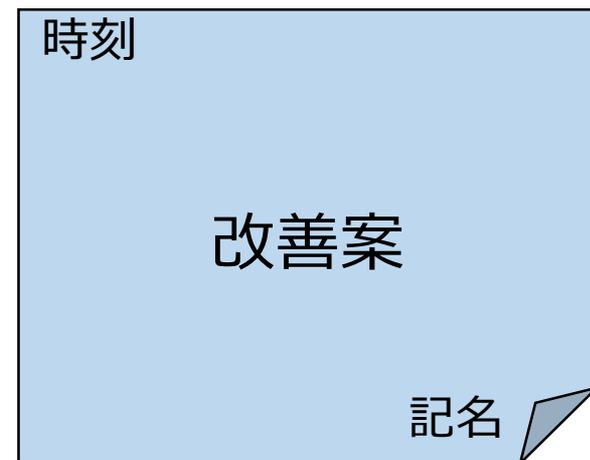
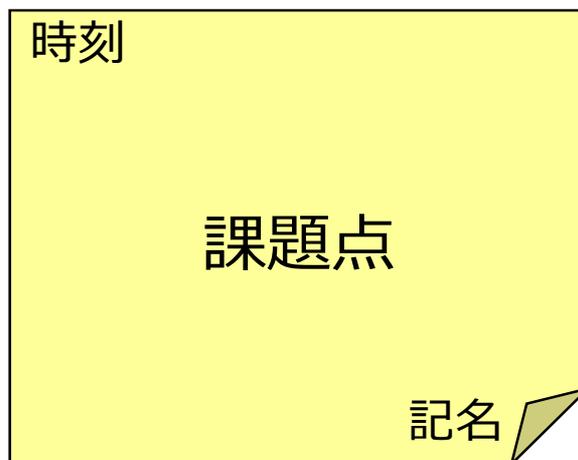
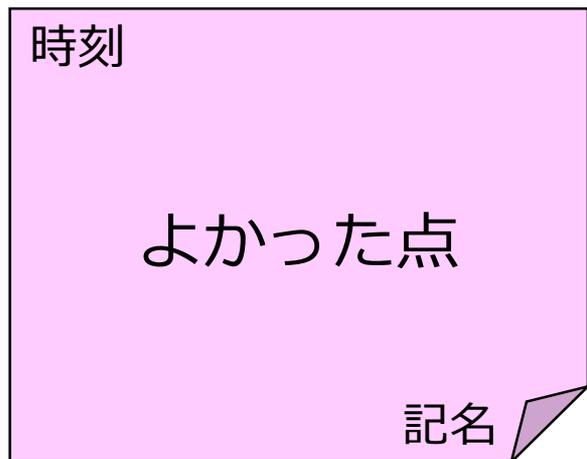
目的

2つの提案授業の児童・生徒の学ぶ姿とそれを支える教師の手立てを比較・分析することを通して、教科等横断的な視点から授業改善に向けた取組を共有する。

1 研修の流れ

1	研修の説明	3分	
2	個人での分析	7分	参観した児童・生徒の姿とそれを支える教師の手立てについて付箋に記入
3	グループ協議①	30分	記入した付箋をベン図を用いて模造紙に分類・整理
4	グループ協議②	10分	教科等を横断して育ってきている児童・生徒の資質・能力、さらに育てていきたい資質・能力について協議をし、ベン図の中央に整理
5	分析結果協議	15分	教科等横断的な視点から授業改善に向けた取組を協議し、共有
6	省察	5分	協議を受けて自身の教科等で取り組むことを記述

2 個人での分析

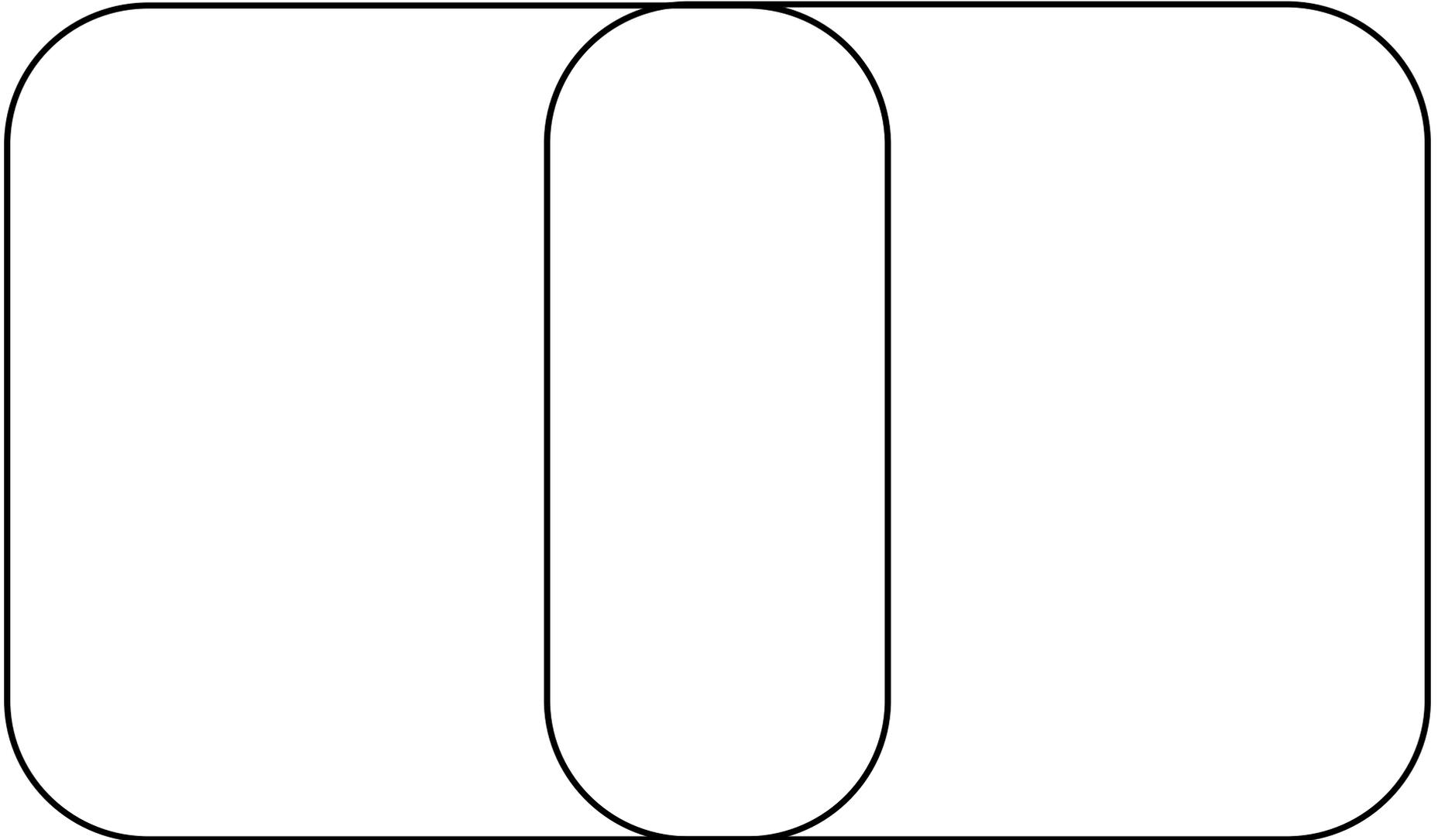


- 筆記具はサインペン
- 1枚の付箋紙に1項目

3 グループ協議①

提案授業A

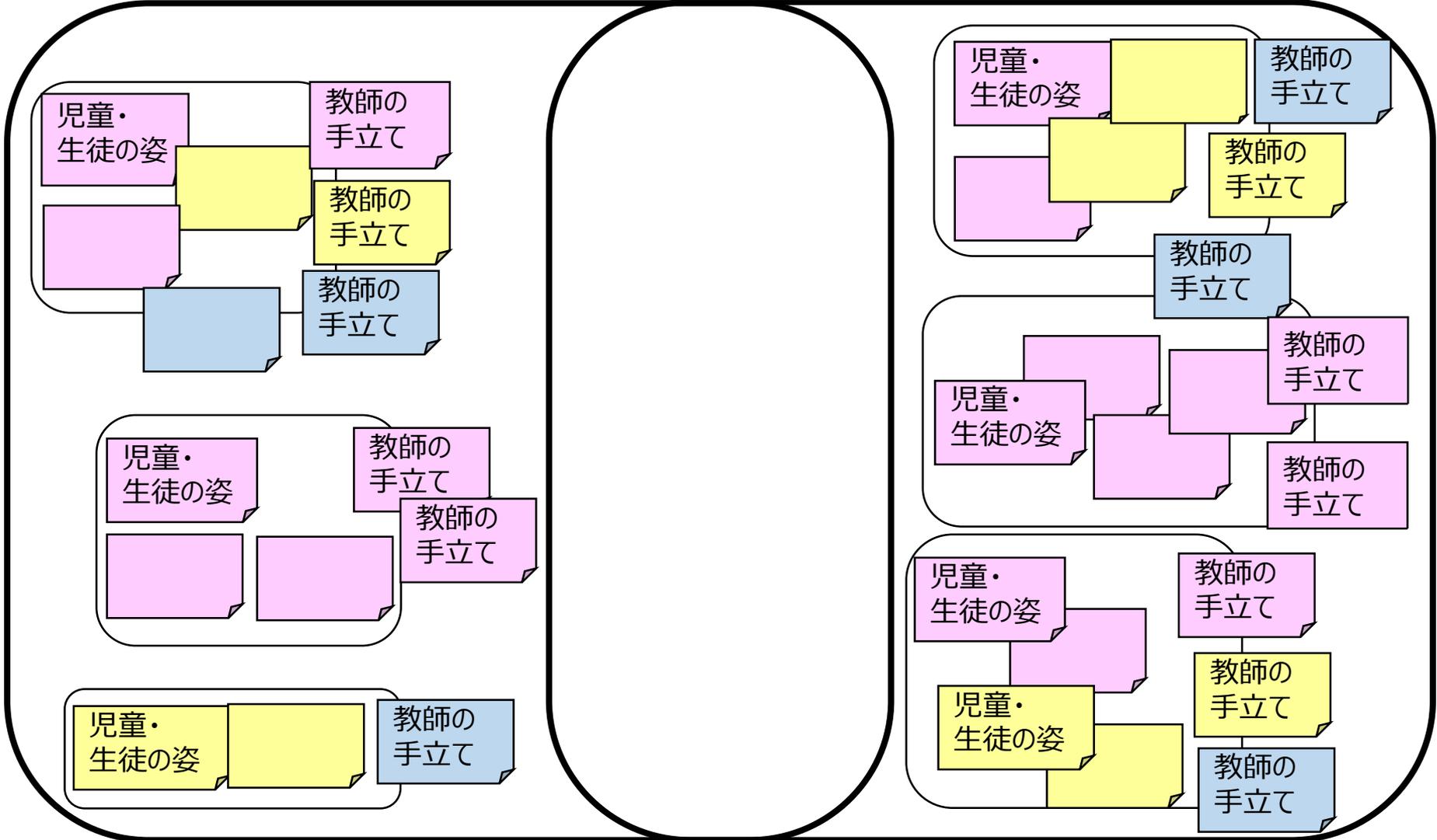
提案授業B



3 グループ協議①

提案授業A

提案授業B



4 グループ協議②

提案授業A

提案授業B

教科等を横断して
育ってきている児童・
生徒の資質・能力

教科等を横断して
育ってきている児童・
生徒の資質・能力

さらに育てていきたい
児童・生徒の資質・
能力

5 分析結果の協議

教科等横断的な視点から授業改善に向けた取組を協議し、共有する。

6 省察

全体協議を受けて各自が明日からの取組
について省察する。

日常化シート
担当教科等【

】

氏名

月/日	取組（具体的に）	児童・生徒の姿（成果や課題）